

財務指標の例⑮

売上債権回転期間**2018年度の売上債権回転期間（全産業・全規模）は1.85月**

※業種別・資本金別

業種	資本金			
	1,000万円未満	1,000万円~1億円	1億円~10億円	10億円以上
製造業	1.64月	2.17月	2.39月	2.45月
非製造業	1.07月	1.48月	1.84月	1.97月

(1) 財務指標の説明

売上債権回転期間とは、売上高に対する売上債権の割合を言い、企業が所有する売上債権がどれくらいの期間で回収できるかを計る尺度です。

売上債権回転期間が短い場合は、一般的に売上債権が現金化できるまでの期間が短いため、資金繰りが健全かつ効率的であると言われています。

$$\text{売上債権回転期間(月)} = \frac{\text{売掛金} + \text{受取手形[期首・期末平均]}}{\frac{\text{売上高}}{12}}$$

貸借対照表

資産の部		負債の部	
I 流動資産		I 流動負債	
<u>受取手形</u>		II 固定負債	
<u>売掛金</u>			
II 固定資産		純資産の部	
III 繰延資産		I 株主資本	
		II 評価・換算差額等	
		III 新株予約権	
資産合計		総資本（負債・純資産合計）	

損益計算書

I	売上高
II	売上原価
	売上総利益
III	販管費
	営業利益
IV	営業外損益
	経常利益
V	特別損益
	税引前当期純利益
VI	法人税等
	当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2018年度の製造業、非製造業を見ると、製造業では売上債権が対前年度比で増加した一方、非製造業では対前年度比で減少したことから、全産業で見た売上債権回転期間は対前年度比で短期化しています。

